社会資本総合整備計画　事後評価書

令和1年7月8日

計画の名称	栃木群馬長野広域的観光活性化計画（重点）		
計画の期間	平成25年度　～　平成29年度　（5年間）	交付対象	長野県（群馬県、栃木県と連携）

計画の目標

巨大な観光需要を抱える首都圏の周縁部に位置する特性を最大限に活かし、関越道、上信越道、北関東道から観光地へのアクセスを強化するとともに、民間と連携した観光ＰＲや自然環境保護活動に広域で取り組むことにより、世界遺産等の歴史的文化遺産や豊かな自然環境が有機的に連携した広域的な観光活性化を図る。
長野地域連携中枢都市圏における観光地アクセスを向上することにより、観光振興による都市圏形成を促進する。

計画の成果目標（定量的指標）

・計画地区内の観光客数を4,481万人（H25）から4,730万人（H29）に増加
・長野県計画地区内（北信濃・東信州地域）における観光客数を2,607万人（H25）から2,745万人（H29）に増加
・長野地域連携中枢都市圏における観光客数を843万人（H25）から888万人（H29）に増加

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値（H25当初）	中間目標値（H27末）	最終目標値（H29末）	備考
群馬県全域・栃木県計画地区内・長野県計画地区内の拠点施設の観光客総計 （栃木群馬長野交流圏域における入込観光客の増減率）＝（評価時点の年間入込観光客数）／（H25の年間入込観光客数）	4,481万人	4,606万人 (2.8%増)	4,730万人 (5.6%増)	
長野県計画地区内の拠点施設の観光客総計 （長野県域内における入込観光客の増減率）＝（評価時点の年間入込観光客数）／（H25の年間入込観光客数）	2,607万人	2,676万人 (2.8%増)	2,745万人 (5.3%増)	
長野地域連携中枢都市圏の拠点施設の観光客総計 （長野地域連携中枢都市圏における入込観光客の増減率）＝（評価時点の年間入込観光客数）／（H25の年間入込観光客数）	843万人	865万人 (2.8%増)	888万人 (5.3%増)	

全体事業費	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ）	2,676百万円	Ａ	2,676百万円	Ｂ	0百万円	Ｃ	0百万円	効果促進事業費の割合 Ｃ／（Ａ＋Ｂ＋Ｃ）	0.0%

事　後　評　価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

「長野県建設部社会資本総合整備計画評価実施要領」に基づき実施する。

事後評価の実施時期

整備計画の交付期間の最終年度に予定しているすべての要素事業が完了した後、速やかに実施する。
（翌年度へ繰り越す要素事業がある場合は、当該事業が完了した後、実施する。）

公表の方法

長野県公式ホームページにおいて公表する。

１．交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

Ａ1　道路事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度） H25	H26	H27	H28	H29	全体事業費（百万円）	備考
1-A1-017	道路	一般	長野県	直接	長野県	都道府県道	改築	（主）豊野南志賀公園線（温泉～五色）	現道拡幅　L=0.8km	高山村	―	―	―	―	―	650	長野都市圏
1-A1-018	道路	一般	長野県	直接	長野県	都道府県道	改築	（主）長野菅平線（菅平下）	現道拡幅　L=0.2km	長野市	―					1	長野都市圏
1-A1-019	道路	一般	長野県	直接	長野県	都道府県道	改築	（主）戸隠篠ノ井線（瀬原田新橋）	現道拡幅　L=0.1km	長野市	―	―	―			302	長野都市圏
1-A1-020	道路	一般	長野県	直接	長野県	都道府県道	改築	（一）牟礼永江線（赤塩）	現道拡幅　L=0.1km	飯綱町	―	―				300	長野都市圏
1-A1-028	道路	一般	長野県	直接	長野県	国道	改築	（国）403号（須坂）	現道拡幅　L=0.4km	須坂市		―				292	長野都市圏
1-A1-029	道路	一般	長野県	直接	長野県	国道	改築	（国）406号（村山橋）	現道拡幅　L=0.4km	長野市～須坂市		―				231	長野都市圏
1-A1-035	道路	一般	長野県	直接	長野県	都道府県道	改築	（主）長野須坂インター線（福島跨道橋）	現道拡幅　L=0.4km	須坂市		―	―	―	―	900	長野都市圏
															合計	2,676	

B　関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容（延長・面積等）	市町村名港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		
合計																

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C　効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		
合計																

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

２．事業効果の発現状況、目標値の達成状況

Ⅰ定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況

・各観光施設において遊歩道整備やスポーツ、宿泊施設を利用したイベントの開催等により観光振興を図っており、広域連携事業の道路改築による支援を行った結果、交流圏域及び県内計画域内において観光客数が増加した。
（共通）平成25年：4,481万人→平成29年：4,913万人、（長野県）平成25年：2,607万人→平成29年：2,750万人、（中枢都市圏）平成25年：843万人→平成29年：870万人

Ⅱ定量的指標の達成状況

指標①（群馬県全域・栃木県計画地区内・長野県計画地区内の拠点施設の観光客総計）	最終目標値	5.6%増（4,730万人）	目標値と実績値に差が出た要因	・目標値に対して実績値が大幅に上回る結果となった要因としては、道路の整備により、上田地域の観光客数が平成25年と比較して19%増加していることが考えられる。
	最終実績値	9.6%増（4,913万人）		
指標②（長野県計画地区内の拠点施設の観光客総計）	最終目標値	5.3%増（2,745万人）	目標値と実績値に差が出た要因	・目標値に対して実績値が大幅に上回る結果となった要因としては、道路の整備により、上田地域の観光客数が平成25年と比較して19%増加していることが考えられる。
	最終実績値	5.5%増（2,750万人）		
指標③（長野地域連携中枢都市圏の拠点施設の観光客総計）	最終目標値	5.3%増（888万人）	目標値と実績値に差が出た要因	・計画どおり整備を行うことにより観光客数が27万人増加し、一定の効果を発現することができた。
	最終実績値	3.2%増（870万人）		

Ⅲ定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況　・道路事業の完成により観光道路としてだけではなく、地元の生活道路として住民の安全な通行の確保に寄与できたと考えられる。

３．特記事項（今後の方針等）

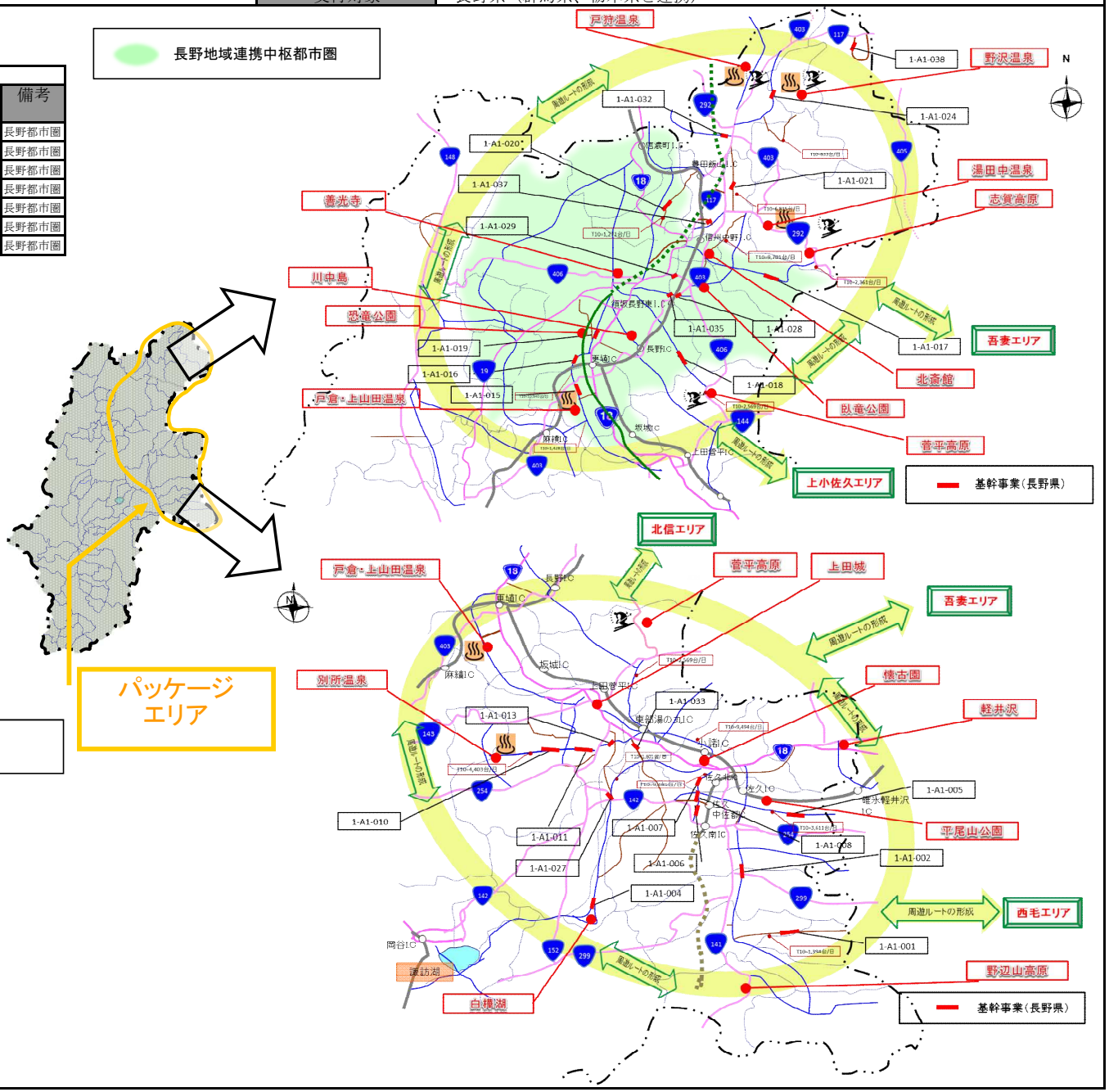
・地域の自発的な観光誘致活動とそれを支援する本計画の実施の結果、観光客数が増加しており、今後の計画においても観光客数の増減を地域の観光活性化を現す指標として設定する。

（参考図面）長野県詳細図

計画の名称	栃木群馬長野広域的観光活性化計画（重点）		
計画の期間	平成25年度～平成29年度　（5年間）	交付対象	長野県（群馬県、栃木県と連携）

長野県内計画エリア内要素事業

A1　広域連携事業			
番号	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	備考
1-A1-017	（主）豊野南志賀公園線（温泉～五色）	現道拡幅　L=0.8km	長野都市圏
1-A1-018	（主）長野菅平線（菅平下）	現道拡幅　L=0.2km	長野都市圏
1-A1-019	（主）戸隠篠ノ井線（瀬原田新橋）	現道拡幅　L=0.1km	長野都市圏
1-A1-020	（一）牟礼永江線（赤塩）	現道拡幅　L=0.1km	長野都市圏
1-A1-028	（国）403号（須坂）	現道拡幅　L=0.4km	長野都市圏
1-A1-029	（国）406号（村山橋）	現道拡幅　L=0.4km	長野都市圏
1-A1-035	（主）長野須坂インター線（福島跨道橋）	現道拡幅　L=0.4km	長野都市圏



◎　拠点施設一覧（長野県　関連計画）　【法第2条第1項第1号ロ（観光活動）】
・戸倉・上山田温泉　・善光寺　・川中島　・恐竜公園　・臥竜公園　・北斎館